

9月 新着図書

潮音 第三巻

著者名:宮本 輝
出版者:文藝春秋



危機の時代を生きた商人たちの成長物語。大政奉還により、幕府から新政府に権力は移ろうとしていた。他方英米などの列強が、日本の富を虎視眈々と狙っている。医術の世界にも、西洋の薬が流入しつつあった。主人公・川上弥一は新時代に対応し、富山の薬売りを近代的な「カンパニー」に脱皮させようとする。

潮音 第四巻

著者名:宮本 輝
出版者:文藝春秋



「なんのために生まれたか、だって？幸福になるために人間に生まれてきたのさ」いよいよ時代は本格的に明治へ。文明開化で庶民の生活も大きく変化する。一方で、西南戦争では若き旧薩摩藩士たちが痛ましい死を遂げていく。そして主人公・川上弥一の身辺にも、大きな出来事が起きる一時代を超えた人間の本質に迫る、著者の真骨頂！宮本文学初の大河歴史小説 堂々の完結！

終活の準備はお済みですか？

著者名:桂 望実
出版者:KADOKAWA



定年間近の女性会社員、長兄が認知症になった高齢の3兄弟、余命僅かな天才シェフなど、終活サロン・満風会には今日も「死」を意識した人々がやって来る。終活相談員の三崎清は1冊のノートに「自分史」を書くように言う。彼らはとまどいながらも、立ち止まり、自分のこれまでを振り返る。人生を見直すこと、それは残りの人生を後悔なく自分らしく閉じるための準備でもあったのだ。超高齢化時代必読のエンディング小説。

不等辺五角形

著者名:貫井 徳郎
出版者:東京創元社



避暑地の別荘で、事件は起こった。三十歳を間近に控え、久しぶりに顔を揃えた五人の男女。インターナショナルスクールで出会って以来二十年以上の付き合いになる重成、聡也、梨愛、夏澄、雛乃は、海外赴任が決まった重成の送別も兼ねて、葉山にある聡也の別荘で旧交を温めていた。ところが深夜、雛乃が頭から血を流した状態で死体となって発見される。続けて梨愛が「私が殺したの」と告げ、警察に連行されてしまう。五人の関係は、一夜にしてひどりが被害者に、ひどりが被疑者になる悲劇へ転じた。幼馴染みの面会も拒否し、殺害の動機を語ろうとしない被疑者。弁護士は、残された関係者三人の証言をあつめる。

うそコンシェルジュ

著者名:津村 記久子
出版者:新潮社



ひょんなことから「うそ請負人」となったみゆり。52歳の誕生日をひとり静かに祝う佐江子さん。人間関係のストレスを特殊な行動で発散している中山さん。家庭と職場、両方に疲れ切った倉田さん。祖父の遺品の幸福な行先を探すえいちゃん。定年退職する同僚のために必死で送別会のお店を探す横井さん。きつと「自分に似た人」を見つけることができる11の物語。

この夏の星を見る 上

著者名:辻村 深月
出版者:KADOKAWA

2020年春、コロナ禍によっていつも通りはすべて消えた。天文部の巫紗は茨城県立高校の2年生。部活動の制約が多い中、スターキャッチコンテストの開催を模索していた。真宙は渋谷区立中学に入学したが、日々を憂い、「コロナ、長引け」と念じていた。円華は長崎県五島列島の高校3年生。吹奏楽部の活動が制限される中、友人に天文台に誘われる。離れた場所に住む中高生たちは星についての活動を通じて、やがてつながっていき…。

この夏の星を見る 下

著者名:辻村 深月
出版者:KADOKAWA

これまで誰も経験したことがない事態の中で、大人たち以上に複雑な思いを抱える中高生たちは動き出した。コロナ禍ならではの出会い・オンライン会議を駆使して広がる活動。それは大人たちも巻き込んだ、さらに大きな流れとなつて一。スターキャッチコンテストの次に彼らが狙うものとは？出会いと別れ、誰かを思う気持ち、悲しさ、優しさ、あたたかさ。人間の感情のすべてがここにある。

小説木の上の軍隊

著者名:平 一紘
出版者:宝島社

1945年、太平洋戦争末期の沖縄県伊江島。米軍との激しい攻防戦が展開される。激しい銃撃に追い詰められ、陸軍少尉の山下と沖縄出身の新兵・安慶名のふたりは、大きなガジュマルの木の上に身を潜めた。連絡手段もなく、ふたりは援軍が現れるまで耐え忍ぶことにするが一。実話から着想を得た作家・井上ひさしが原案を遺し、こまつ座にて上演された舞台「木の上の軍隊」。その映画作品を完全ノベライズ。

近畿地方のある場所について

著者名:背筋
出版者:KADOKAWA

はじめまして。背筋と申します。この本に収録されている様々な形式の文章は、オカルト雑誌に掲載する特集のために、ライターの私と、編集者で友人でもある小沢くんの手によって収集されたものです。それらは、近畿地方の「ある場所」に関連した文章です。私たちは、「ある場所」に潜む怪異の存在に気づきました。そして、調べを進める中で小沢くんが消息を絶ってしまいました。私は彼を捜しています。どうか皆さんこの本をお読みいただき、情報をお持ちの方はご連絡ください。

これから首都直下、南海トラフ巨大地震を経験する人たちへ

著者名:三浦 房紀
出版者:KADOKAWA

近く必ず発生するとされている首都直下型地震と南海トラフ巨大地震について、今知っておくべきこと、起こったときに取るべき行動をわかりやすく解説

9月

新着図書

子どもの体験学びと格差 負の連鎖を断ち切るために

著者名:おおた としまさ
出版者:文藝春秋

体験格差」という言葉の響きもつ薄気味悪さを手がかりに、大人たちを「体験の詰め込み教育」に駆り立てる「呪い」の正体に迫る！大学入試の変化や非認知能力ブームで、子どもの体験までもが課金ゲーム化している。親たちは体験の詰め込み教育に駆り立てられ、子どもたちは格差意識を刷り込まれる。まるで「体験消費社会」だ。体験をたくさんしたほうがいいと偏られた結果、お金のある家庭の子どもたちはたくさん習い事をさせられ、かたやお金のない家庭の子どもたちは遊ぶ相手すらいな状態に地域に残される……。そんな、小学生たちの放課後の分断が、あるNPOの調査結果から浮かび上がってきた。

とーんだとんだ

著者名:中川 ひろたか
出版者:Gakken

なーにがとんだ。ぼくのまわりでいろいろなものがとんでいく！？幼稚園・保育園で人気の遊びが絵本になりました！

じーっ

著者名:中山信一
出版者:偕成社

学校の廊下の窓にほっぺたをくっつけて、外を「じーっ」と見つめている男の子。いったいなにを見ているのでしょうか？ページをめくると、視線の先では、飛行機が雲を描きながら、青空をまっすぐに飛んでいました。

よるくまくるよ

著者名:石津 ちひろ
出版者:BL出版

「よるくまくるよ」「だんたいだとはとだいたんだ」…、上から読んでも下から読んでも同じ文になる回文ことばあそび絵本。

じんせいはいしがみついてなんぼです

著者名:涼
出版者:フレーベル館

この本には、いろいろな動物たちの心の声が詰まっています。そのつぶやきに思わず、くすっしたり、ハッしたり、じーんしたりすることでしょう。あの動物も、こんなことを考えているのかもしれない。人間と同じように。